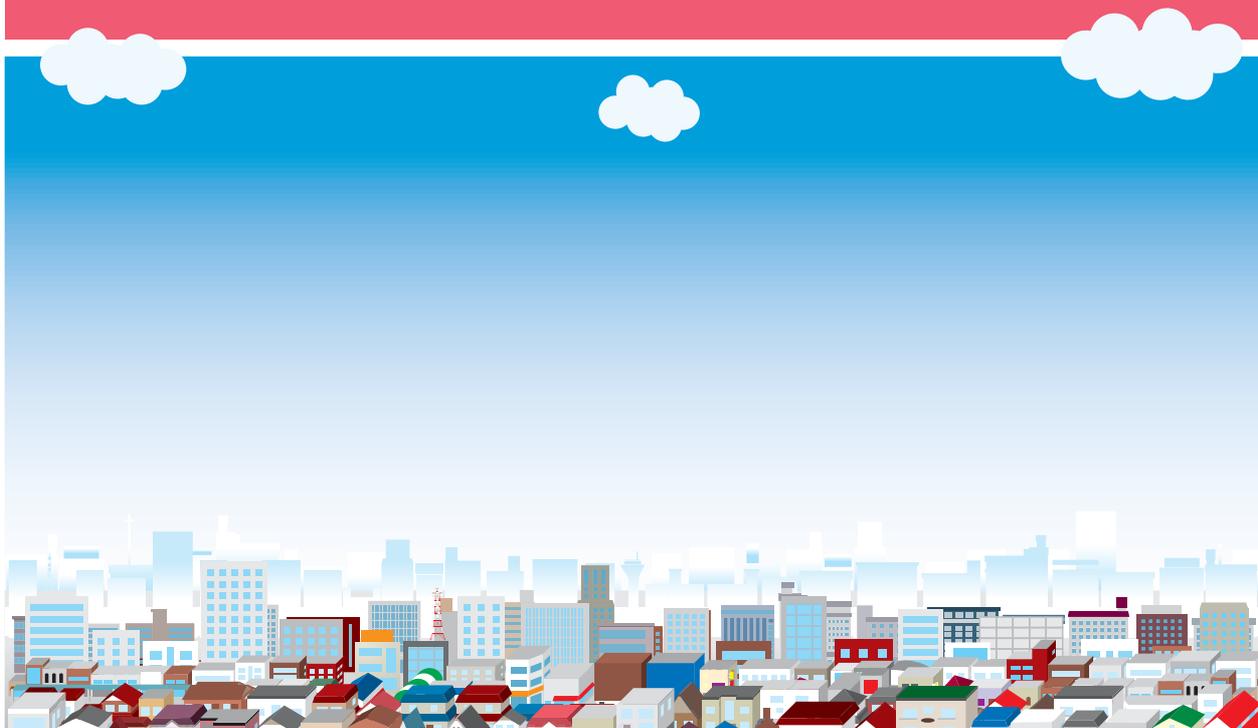


岡山市第六次総合計画

長期構想

未来へ躍動する 桃太郎のまち岡山

総合計画は将来を見据えた市政運営の羅針盤であり、
市政を推進する上で最も基本となる計画です。



まちの「変化」を創り出し、まちの「活力」、岡山への



策定の趣旨

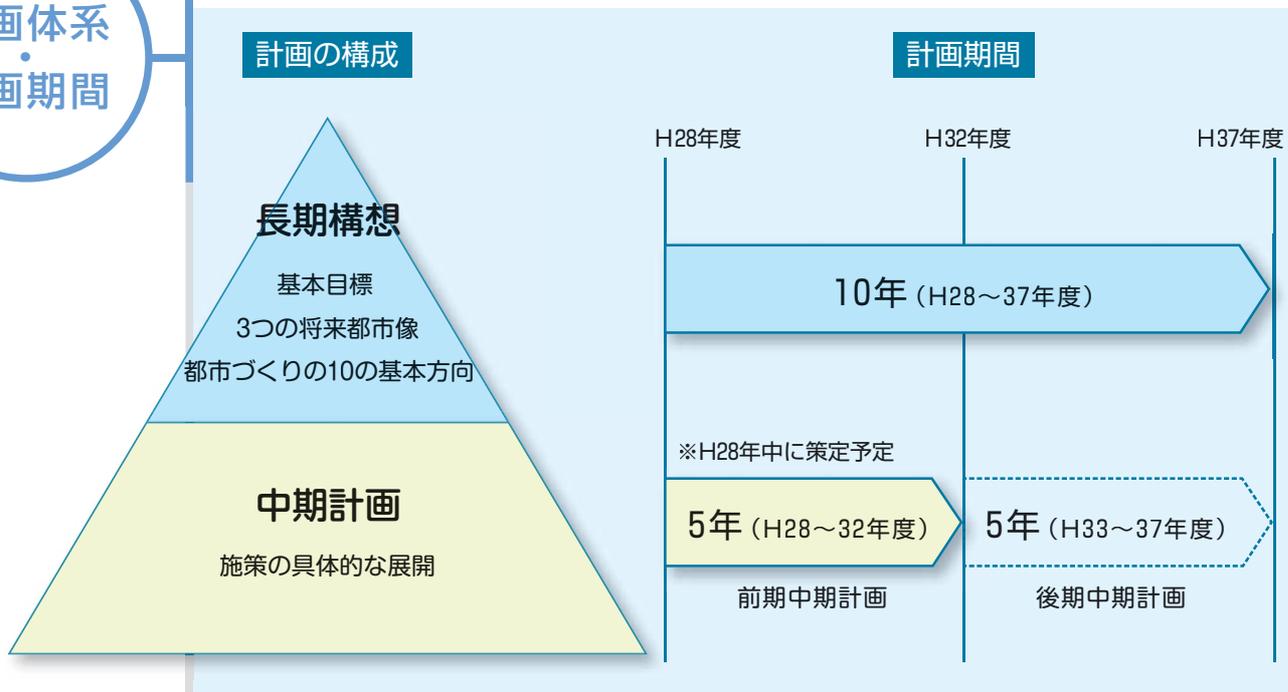
岡山市は、平成21年4月の政令指定都市移行に合わせて、「岡山市都市ビジョン 新・岡山市総合計画」を策定し、これに基づき着実にまちづくりを進めてきました。

一方、我が国を取り巻く社会経済状況が大きく変化し、今後岡山市においても、人口減少社会の到来が見込まれる中、変化を実感したいという市民のまちづくりへの期待の高まりを踏まえ、岡山市らしさを発揮しながら、都市の活力を生み出し、さらなる岡山市の発展を実現していかなければなりません。

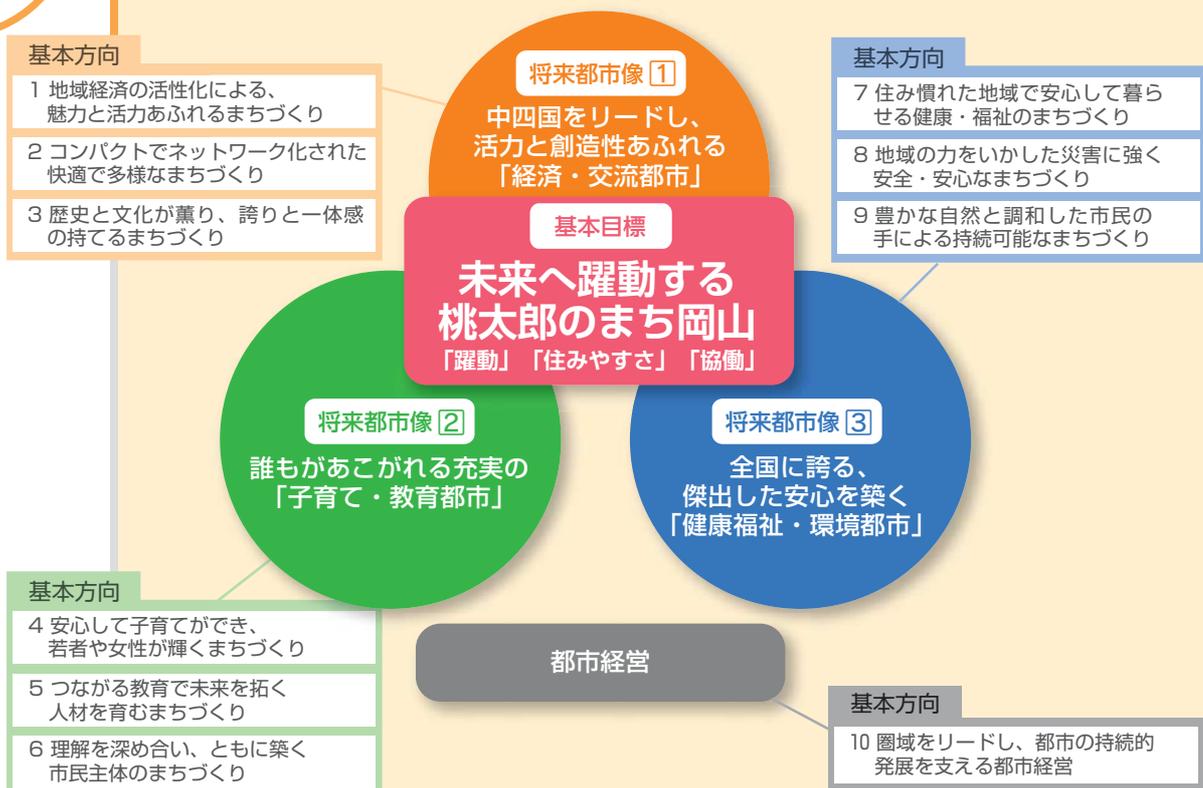
このため、本総合計画は、「水と緑」に象徴される都市ビジョンの理念を引き継ぎながら、住みやすさに一層の磨きをかけるとともに、国内外を視野に入れた未来志向の躍動感のあるまちづくりを、市民と行政が協働して進めることにより、まちの変化を創出し、まちの活力、市民の岡山への愛着と誇りを高めることをめざし、策定します。



計画体系 ・ 計画期間



長期構想 の 全体像

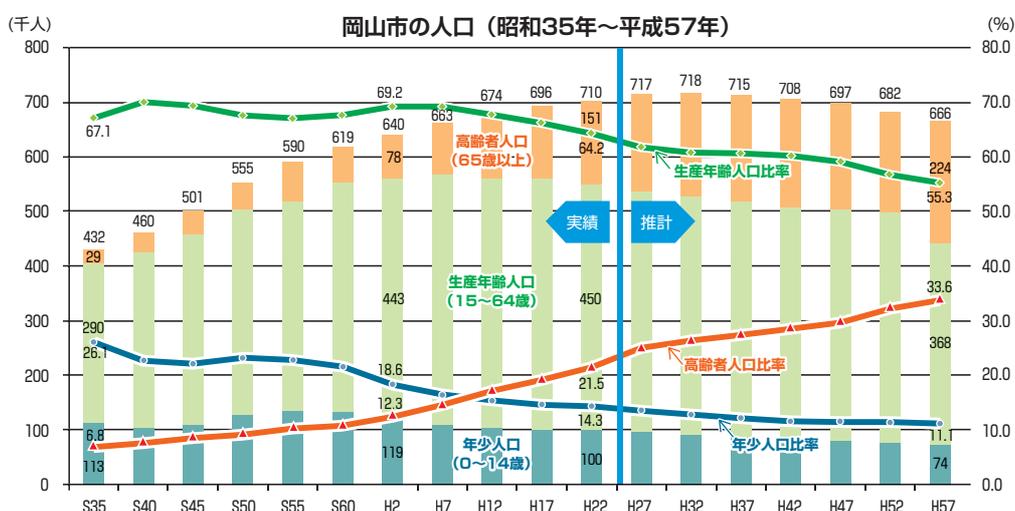


長期構想策定の背景

1 時代の変化や要請

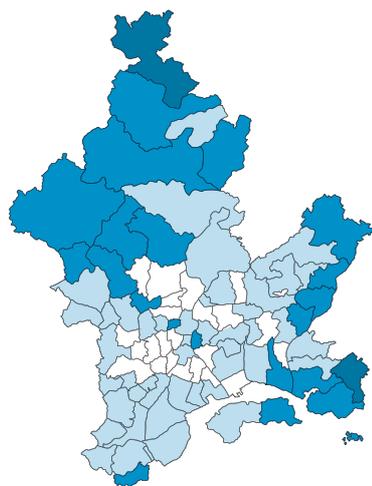
■人口減少問題と少子高齢化への対応

- 人口の東京一極集中の進展
- 岡山市も長期構想の計画期間中にピークを迎え、人口減少期に突入、高齢者人口の増加と中長期的な生産年齢人口の減少
- 人口減少社会を見据えた都市構造の転換が必要

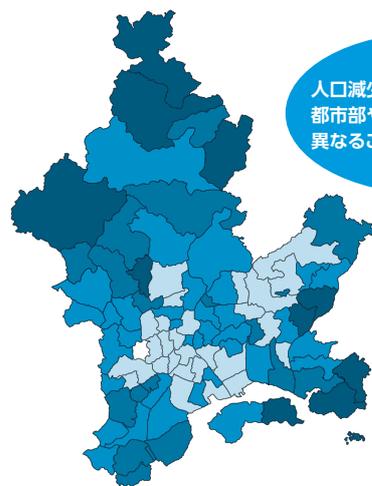


※人口等は現在市域。人口総数には年齢「不詳」を含む。ただし、人口比率は年齢「不詳」を除いて算出。
 ※H27国勢調査速報値は719,584人 資料：S35～H22は国勢調査、H27～57は岡山市推計（H26）

現在の高齢化率（H22）



30年後の高齢化率（H52）



人口減少や人口構造の変化は都市部や中山間地域等で異なることに留意が必要



凡例 65歳以上の人口割合
 □ 10%～
 □ 20%～
 □ 30%～
 □ 40%～
 □ 50%～

資料：H22国勢調査、岡山市推計（H26）

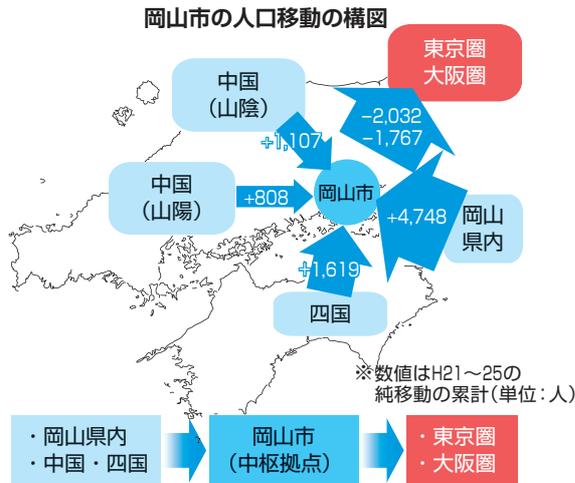
■グローバル化・情報化のさらなる進展

- グローバルな視野に立った施策展開の必要性
- ICT（情報通信技術）の有効活用による効率的・効果的な市民サービスの向上



■ 地域経済の活性化、広域的役割への期待

- 東京圏等への人口流出の歯止め、若い世代の岡山への定着
- 雇用と活力を生み出す戦略的な産業振興、農業の担い手不足への対応、観光誘客・受入れ力の向上
- 中心市街地の持つ役割の重要性の再認識
- 都心部、周辺部を通じた公共交通の利便性向上
- 広域的な行政課題への効果的対応



資料:「岡山市の統計」をもとに集計

■ 安全・安心に対する市民意識の高まり

- 頻発する集中豪雨等や南海トラフ巨大地震の発生の危険
- 老朽化する都市インフラの計画的な予防保全等の適切なマネジメント
- 医療・介護需要の増加、健康づくり、生涯現役のサポート

健康寿命は全国よりも、男性は1.4歳短い女性は0.9歳短い

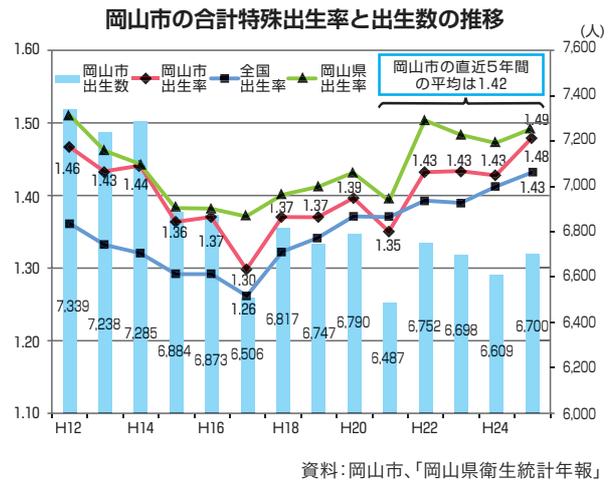


※健康寿命とは「日常的に介護を必要としないで、自立した生活ができる生存期間」のこと(WHO)

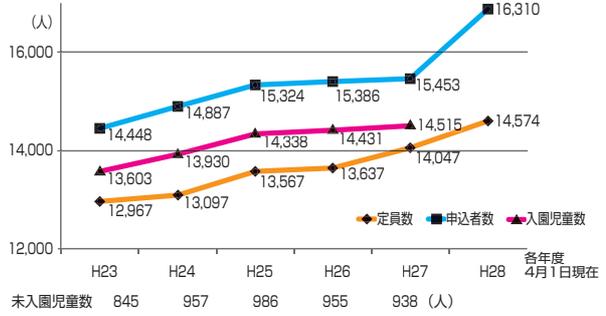
資料:厚生労働省「市区町村別生命表(H22)」、厚生労働省研究班「健康寿命の指標化に関する研究(平成25年度分担研究報告書)」

■ 子育て・教育ニーズの拡大、若者や女性など市民の力の発揮

- 結婚、妊娠、出産、子育ての希望がかなう環境整備
- 若者、女性をはじめ多様な人材が活躍しやすい環境づくり
- 学力の向上、問題行動、不登校への対応
- 多様な主体の力をいかした地域課題の解決



■ 岡山市の保育園等における未入園児童数の状況



※保育園等とは、2号・3号認定を受けた認可保育園、認定こども園、地域型保育事業

※H28年度申込者数は1月末現在の概数

資料:岡山市集計

■ 主として読解力・表現力に関わる問題の正答率の対全国比(全国を100とした場合の岡山市の値)

科目	平成27年度
小学校国語	99.5
小学校算数	103.7
中学校国語	95.4
中学校数学	90.4

資料:全国学力・学習状況調査

長期構想策定の背景

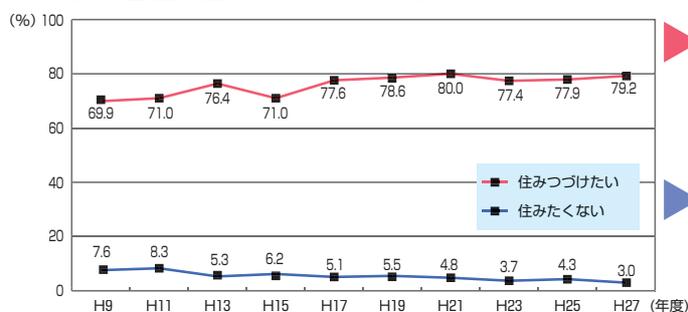
② 市民の課題意識

■岡山市らしさの発揮と発信

● 住みやすさへの一定の評価がある一方で、岡山市の特徴をつくり、都市ブランド力、地域への愛着や関心を高めることが課題

● 地方分権が進展し、グローバル化や広域化など社会情勢が絶えず変化する時代にあっては、地域の独自性をいかしたまちづくりを進めることが必要

◇市民の定住(住みやすさ)に対する意識は？



資料：岡山市市民意識調査(H27)

住みつづけたい主な理由

- ・気候など自然環境がよい……73.6%
- ・先祖代々の土地・墓がある……35.5%
- ・交通の便がよい……30.9%

住みたくない主な理由

- ・交通の便がよくない……42.1%
- ・人情・人間関係がよくない……36.0%
- ・都会的な魅力がない……26.8%

◇全国的な岡山市の認知度は？

	全国(※1,000市区町村)	政令指定都市
認知度	72位/1,000	16位/20
魅力度	178位/1,000	15位/20
観光意欲度	171位/1,000	15位/20

資料：ブランド総合研究所「地域ブランド調査2015」

● 全国から見た岡山市の認知度が必ずしも高いとは言えない状況

● 固有の地域資源の価値を学び、まちづくりにいかし、国内外に積極的に発信していくことが重要

参考

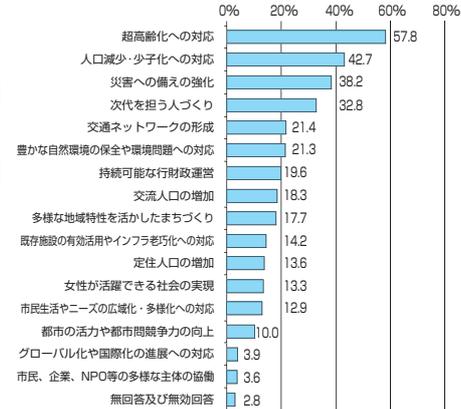
◎まちづくりへの市民意識

- 平成27年に実施した市民意識調査によると「大きな方向性として、どんな分野に力を入れるべきか」という問いに対しては、健康・医療・福祉、教育、安全・安心、子育て分野が高くなっています。特に、教育分野は、30、40代のニーズが高く、子育て分野は20、30代のニーズが高くなっています。
- 「今後どのような視点を大切にしてまちづくりを進めるべきか」という問いに対しては、「超高齢化への対応」が最も多く、次いで、「人口減少・少子化への対応」、「災害への備えの強化」、「次代を担うひとづくり」が3割を超えて相対的に高い割合となっています。

問 大きな方向性として、どんな分野に力を入れるべきか(3つまで選択回答)



問 今後どのような視点を大切にしてまちづくりを進めるべきか(4つまで選択回答)





3 岡山市の強みと特性

■立地条件のよさ

高次の機能集積、
中四国の交通のクロスポイント

- 商業・医療など、高次の都市機能の集積
- 多くの学生が集う学術・研究の拠点
- 全国的にも非常に優れた交通の広域拠点性



■認知度の高い地域資源

先人から引き継ぐ
固有の歴史・伝統・文化

- 古代吉備勢力の繁栄
(桃太郎伝説、うらじゃまつり、吉備団子など)
- 岡山城の築城・城下町の形成、岡山後楽園
- 国指定史跡の多さ
(京都市に次いで政令指定都市で2番目)

■バランスのとれた産業構造

第3次産業中心の産業構造、
全国有数の農業都市

- 卸売・小売業や、医療・福祉産業等のサービス業の割合が高い
- 全国ブランドの農産物を生産、全国有数の農業都市

■市民力の高さ

活発な地域活動、ESDの取組

- 地縁組織の活発な活動
- 「ESDに関するユネスコ世界会議」の成功
(2014年)
- ユネスコの「キーパートナー」に認定

■住みやすさ

災害が少なく温暖な気候、
豊富な医療・介護資源

- 温暖な気候に恵まれた「晴れの国」、
自然災害が少ない
- 広大な市域、多様な自然環境
- 高度医療を提供する医療機関の集積など
医療・介護資源の蓄積

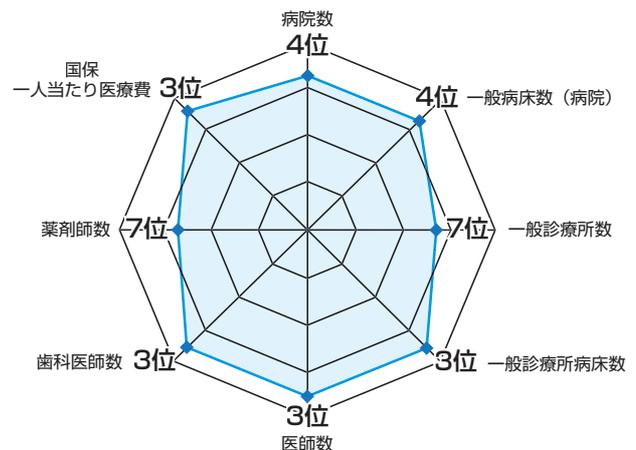
移住希望先としての岡山（都道府県別）

	2010 (N=775)	2012 (N=1017)	2014 (N=2885)	2015 (N=4325)
順位	都道府県	都道府県	都道府県	都道府県
1	福島	長野	山梨	長野
2	長野	岡山	長野	山梨
3	千葉	福島	岡山	島根
4	岩手	香川	福島	静岡
5	山形	千葉	新潟	岡山

※岡山県は圏外

資料：ふるさと回帰支援センター、移住希望地域ランキング(各年)

人口10万人当たり医療資源に関する岡山市の順位（政令指定都市中）



資料：厚生労働省「医療費の地域差分析(H24)」、「医療施設調査(H25)」、「医師・歯科医師・薬剤師調査(H24)」、総務省「国勢調査(H22)」をもとに作成

都市づくりの基本目標と3つの将来都市像

未来へ躍動する 桃太郎のまち岡山

岡山市は、時代の変化や要請、市民の課題意識を踏まえつつ、固有の強みや特性を最大限にいかしながら、活力があふれ、市民が愛着と誇りを持ち、未来へ躍動する都市の実現に向け、岡山市のさらなる発展と市民の満足度の向上をめざした都市づくりを進めます。そして、新たな岡山市の都市づくりの象徴として、未来への躍動感、力強さと健康、白桃に代表される農産物などを、全国的にも知名度が高く、岡山固有の歴史・文化に由来する「桃太郎」に重ね合わせ、「桃太郎のまち岡山」を掲げ、市民と行政が一体となって取り組みます。

都市の躍動感を創出する

水と緑に恵まれた美しく快適な環境を大切に、安全・安心の「住みやすさ」を基盤にしなが、また、市民がまちづくりの変化を実感できるよう、都心部と周辺部との調和とバランスのとれた発展に意を用いながら、国内外に開かれた活発な交流を通じて新たな都市の魅力を創造・発信し、活力と躍動感あふれる都市づくりを進めます。

これにより、岡山市の都市ブランドを確立し、市民がその魅力を自信を持って国内外に発信できる都市をめざします。

岡山市に生まれ、育ち、学び、働き、活動する市民誰もが、個性と能力を最大限に発揮し、一人ひとりが夢や希望を実現できるよう後押しする、人が輝く都市づくりを進めます。

「住みやすさ」に磨きをかける

これまで培ってきた、安全・安心で、恵まれた自然環境と質の高い都市機能のどちらも享受できる暮らしが、岡山市の魅力として捉えられています。このような「住みやすさ」に磨きをかけ、市民誰もが岡山に住み続けることに誇りを持てる都市づくりを進めます。

市民と行政がともに変えていく

都市づくりの目標や課題を市民と行政が共有し、具体的な役割分担を明確にしなが、ともに考え、ともに行動し、その実現に向けて協働で取り組んでいきます。また、市役所自身、市民からの期待に応えられる組織への自己変革を進めます。

以上の基本目標の実現に向けて、3つの将来都市像、都市づくりの10の基本方向を定めます。



将来都市像

1

中四国をリードし、
活力と創造性あふれる
「経済・交流都市」

地域経済を成長させ、
賑わいを創出する

- 岡山市の持つ優れた立地条件や商業・業務、医療、教育・文化等の都市機能集積の強みをいかした産業育成や、多彩な農業の振興を図ることにより、地域経済の活力を生み出す都市をめざします。
- 都心部において、国内外からの観光・コンベンション、ビジネス等の交流を活発化するとともに、中心市街地の魅力と賑わいを創出することにより、市域全体の発展をけん引する原動力とします。



周辺地域を活性化し、
都心とつなぐ

- 周辺地域の拠点機能を充実し、これと高次の都市機能が集積した都心部とが利便性の高い公共交通等で相互に結ばれた、コンパクトでネットワーク化された都市づくりを進めるとともに、それぞれの周辺地域が多様で豊かな地域資源を十分にいかして活性化と生活機能の維持を図りつつ、個性を発揮し、市域全体が快適で活力あふれる都市をめざします。



新たな文化を
創造・発信する

- 岡山市固有の歴史・伝統・文化をまちづくりに活用するとともに、市民一人ひとりが学び親しむことにより、様々な交流を通じて新たな文化を創造し、岡山市らしさを市民が誇りを持って国内外に積極的に発信する都市をめざします。



圏域の発展をけん引する

- 高次都市機能の集積をいかし、関係市町と相互に連携しながら、圏域全体の発展を力強くリードする拠点都市をめざします。



将来都市像

2

誰もがあこがれる
充実の
「子育て・教育都市」

子育て環境を
充実させる

- 結婚、妊娠、出産、子育てを希望する誰もが安心して子どもを産み育てることができる環境が充実し、若者世代が定着し、女性や若者の大きな人材力をいかす都市をめざします。



未来を拓く人材を育てる

- 子どもが将来に夢と希望を持って健やかに育つよう、就学前から中学校までの学びの連続性を大切にするとともに、家庭、学校、地域が協働して教育力を高めることにより、他者や社会とのつながりを重視して、自ら考え、学び、行動する、未来を拓く人材が育つ都市をめざします。



多様な担い手をいかす

- ESDの理念に基づき、次代を担う人材を育成し、多様な担い手が、自助・共助・公助の精神で、それぞれの役割を発揮しながら、より良い地域をつくり上げる市民主体の都市をめざします。



将来都市像

3

全国に誇る、
傑出した安心を築く
「健康福祉・環境都市」

健康で安心に暮らす

- 豊富な医療・介護資源をいかし、生涯を通じて健康でいきいきと活躍でき、医療や介護等の支援が必要になっても誰もが住み慣れた地域で安心して暮らし続けられる都市をめざします。



安全に万全を期す

- 都市基盤の計画的な整備と更新、地域における防災、減災、防犯などの自主的な活動を通じて、大規模化する自然災害等への備えに万全を期し、市民の暮らしの安全・安心が確保された都市をめざします。



豊かな自然環境を
引き継ぐ

- 低炭素・循環型社会の推進や、市民一人ひとりが地球環境や将来世代に配慮した行動を実践することで、環境負荷の少ない持続可能な社会づくりを進め、多様な自然環境と調和した豊かな暮らしを将来世代に引き継ぐ都市をめざします。



将来都市像を実現するための10の基本方向

将来都市像

1

中四国をリードし、
活力と創造性あふれる
「経済・交流都市」

基本方向 ①

地域経済の活性化による、
魅力と活力あふれるまちづくり

- 中小企業・小規模事業者の育成・強化、経営安定化
- 新産業の戦略的な創出・育成、企業立地の推進
- 中心市街地の回遊性の向上、魅力と賑わいの創出
- 多彩で豊かな農産物を生産する農業の振興
- 観光・交流の促進、都市ブランドの向上

基本方向 ②

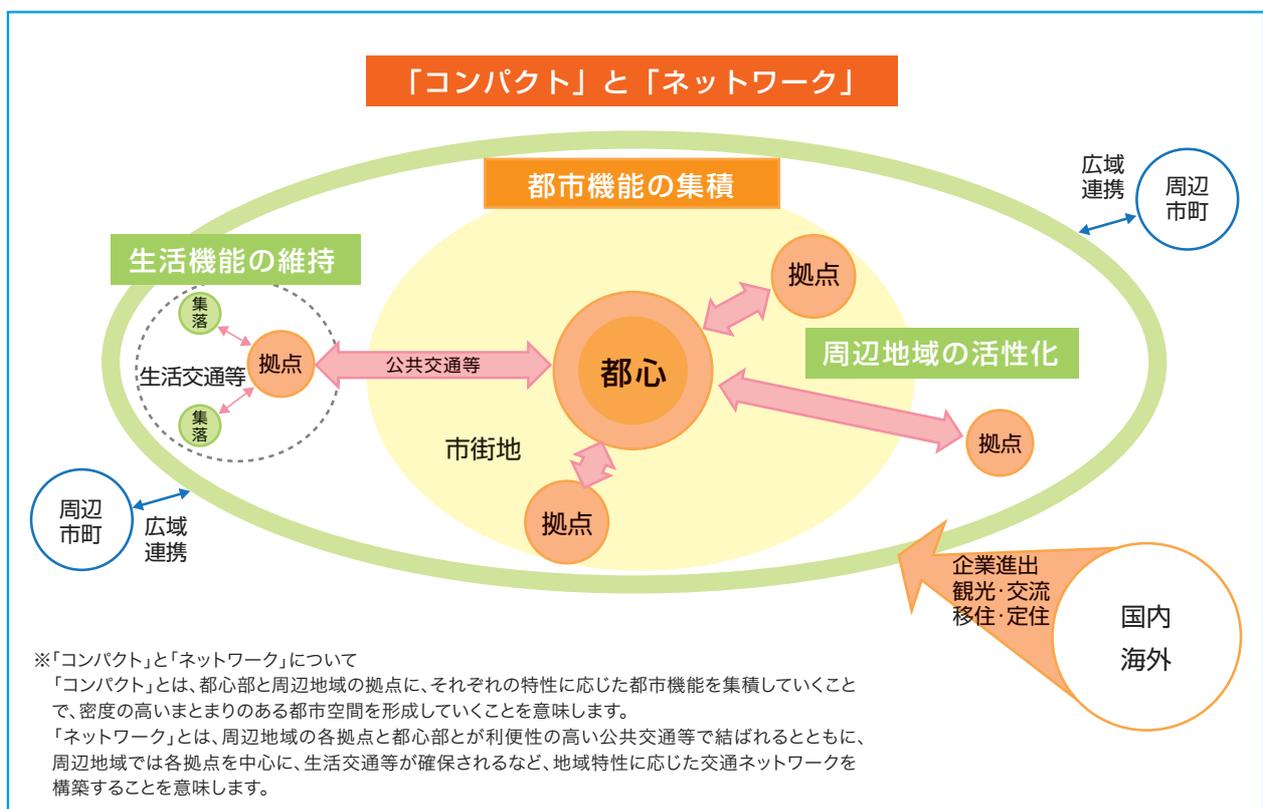
コンパクトでネットワーク化された
快適で多様なまちづくり

- 周辺地域と都心部とが調和、発展し、それぞれの特性と機能をいかした、コンパクトでネットワーク化された快適で多様なまちづくり
- 公共交通を中心に、地域特性に応じた交通ネットワークの構築

基本方向 ③

歴史と文化が薫り、
誇りと一体感の持てるまちづくり

- 歴史・文化に子どものころから学び親しむ
- 歴史・文化の魅力をいかし、新たな文化を創造し、国内外に発信
- 文化・芸術、スポーツを振興し、様々な交流を促進





将来都市像

2

誰もがあこがれる充実の
「子育て・教育都市」

基本方向 ④

安心して子育てができ、
若者や女性が輝くまちづくり

- 保育サービスの安定的な確保、ワーク・ライフ・バランスの推進、地域社会全体で子育てを支える環境づくり
- 困難を抱える子ども・若者への総合的な対策の充実、安全で健やかに育ち、自立することができる環境づくり
- 若者や女性が持つ潜在力や多様な視点を様々な場面で活用、男女共同参画の推進

基本方向 ⑤

つなげる教育で
未来を拓く人材を育むまちづくり

- 学びと育ちの連続性を大切に、家庭、学校、地域が協働して「自立する子ども」を育成
- 市民の生涯にわたる豊かな学びを支援し、未来を拓く力と豊かに生きる力を育む

基本方向 ⑥

理解を深め合い、
ともに築く市民主体のまちづくり

- ESDの理念をまちづくり全般に共通する行動指針とし、多様な主体がパートナーシップを深め、それぞれの特性や力を発揮し、幅広い課題の解決に向けて実践
- 国際交流の推進、グローバル人材の育成、多文化共生の国際的に開かれたまちづくり
- 誰もが個人として等しく尊重され、個性と能力を發揮することができる人権尊重のまちづくり

将来都市像

3

全国に誇る、
傑出した安心を築く
「健康福祉・環境都市」

基本方向 ⑦

住み慣れた地域で安心して
暮らせる健康・福祉のまちづくり

- 健康寿命の延伸、生涯現役で活躍できるまちづくり
- 「地域包括ケアシステム」を構築
- 高齢者、障害者、生活困窮者等の地域での支え合い、必要な福祉サービスを提供し、社会参加と自立を促進

基本方向 ⑧

地域の力をいかした
災害に強く安全・安心なまちづくり

- 災害に強い都市基盤の整備、都市インフラの効果的・効率的なマネジメント
- 迅速・的確な消防救急体制、地域の防災力の強化
- 犯罪や交通事故の少ない生活環境づくり、消費者保護など安全な市民生活を守る取組の推進

基本方向 ⑨

豊かな自然と調和した
市民の手による持続可能なまちづくり

- 多様で豊かな自然と共生した持続可能なまちづくり
- 再生可能エネルギーの導入、省エネルギー化の推進、市民生活や都市活動を環境にやさしいスタイルに変革
- 4Rの取組により、徹底した廃棄物の減量化・資源化を推進

都市経営

基本方向 ⑩

圏域をリードし、
都市の持続的発展を支える都市経営

- 財政運営の健全性の確保、市役所の自己変革、官民の役割分担の見直し等の不断の行財政改革
- 連携中枢都市圏等、関係市町との有機的な連携の推進、圏域全体の発展を力強くリード、さらには瀬戸内地域の活性化に貢献





岡山市第六次総合計画 長期構想（平成28年3月策定）

岡山市政策局総合計画課

〒700-8544 岡山市北区大供一丁目1番1号

TEL 086-803-1043 FAX 086-803-1846

http://www.city.okayama.jp/kikaku/kikaku_00290.html